

事務事業名	社会教育一般管理費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	5312

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 34 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	社会教育行政の基盤整備を目的に、社会教育委員の報酬の執行、社会教育職員等の研修会を実施する。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	社会教育法					
事業実施内容	1 社会教育委員会議の運営(議長1人・委員14人) 10回開催 2 社会教育職員等への研修の実施 5回開催 3 課内電子複写機及び部内施設に自動体外式除細動器(AED)を賃貸借により設置						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 神奈川県社会教育委員連絡協議会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 3,534 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報酬	1,159 千円	社会教育委員報酬
		需用費	413 千円	事務用品, 印刷機用消耗品, 参考図書, 燃料費ほか
		役務費	311 千円	会議録反訳料
		使用料及び賃借料 その他	1,571 千円 80 千円	AED賃借料, 印刷機賃借料, 電子複写機賃借料ほか 旅費, 報償費, 負担金補助及び交付金
財源内訳	R2年度 支出済額 3,534 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金 その他 ( )		
一般財源	3,534 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	3.35人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	3.35人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	1.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	38,096	35,945	38,836	43,087			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	38,661	36,790	38,818	39,173			
	事業費(支出済額)	5,067	5,192	4,654	3,534			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	33,594	31,598	34,164	35,639			
	①常時勤務職員等の給与等	20,743	18,792	18,739	32,431			
	②会計年度任用職員の報酬等	11,844	11,844	14,241	1,395			
	③退職金相当額	1,007	962	1,184	1,813			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-565	-845	18	3,914			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-565	-845	18	3,914			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	89.11	427,501	83.73	429,317	89.68	433,060	99.02	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		社会教育委員会において様々な意見をいただくことで、本市の社会教育基盤の整備につながった。							
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1)	令和2年度末時点の課題	「生涯学習ふじさわプラン2021」の効果的な推進を図るため、社会教育委員会において市民視点や専門的視点に基づく進捗管理を行うとともに、次期生涯学習ふじさわプラン策定のための提言書の作成に向けた協議が行われているが、限られた時間内での円滑な進行や、いかに効果的に意見を反映できるかが課題である。
(2)	課題解決のための今後の取組	事業の経年変化に着目する等進捗管理方法を工夫し、事業課にフィードバックできる体制を整える。社会教育委員会での意見を的確にくみ取り、次期生涯学習ふじさわプランに反映する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	社会教育委員会を10回開催し、「生涯学習ふじさわプラン2021」の進捗管理及び次期生涯学習ふじさわプランの策定に向けた協議を通じて、より一層の生涯学習・社会教育の推進に向けた議論が図られた。社会教育職員の研修を5回行い、社会教育に関する知識や技術を学ぶことで、社会教育の推進に寄与した。	
	事業の方向性	事業統合
今後の方針	引き続き社会教育委員会において、生涯学習ふじさわプラン2021の進捗管理を行うとともに、次期生涯学習ふじさわプランの策定に向けた協議により、生涯学習・社会教育行政の基盤整備に努める。公民館等に配属されている社会教育職員が、地域づくりにつなげる「コーディネーター」としての役割をより一層高めるために、研修内容を充実させる。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	後援等名義使用に関すること	無	無	1	1
4	生涯学習ふじさわプランに関すること	無	有		1
15	社会教育委員会議の庶務	無	有	3	3
23	社会教育職員等研修会(新任職員研修、月例研修)	無	有	2	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	生涯学習推進事業費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	003	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	5312

1. 事業概要

事業開始年度	平成 22 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民の主体的な学習を推進し、その学習成果を生かすことができる生涯学習社会の構築を目的に、藤沢市生涯学習活動推進室の管理・運営、生涯学習講座の実施、生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」及び生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢塾です」の運営を行う。 ※この事務事業は令和2年度から社会教育関係事業費と事業統合したもの。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等							
事業実施内容	1 藤沢市生涯学習活動推進室の管理・運営(生涯学習サロン利用206件) 2 生涯学習講座の実施(13講座, 675人受講) 3 生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」の運営(講師登録308件, 利用件数17件) 4 生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢塾です」の運営(登録講座83講座, 実施回数7回) 5 大学市民講座開設 (1)多摩大学 全2回 参加者延べ106人 (2)慶應義塾大学 全3回 参加者延べ331人						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢エフエム放送(株), (一社)Workation Network, 慶應義塾大学湘南) (委託内容: 生涯学習大学放送通信コース・地域活動コース, 大学市民講座) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 5,298 千円	事業費節別内訳		主な事業内容	
		費目	支出済額(千円)		
		報償費	885 千円		生涯学習講座講師謝礼
		需用費	205 千円		冊子等コピー用紙, 事業用パンフレット印刷費
		役務費	113 千円		生涯学習活動推進室電話料, 手数料
		委託料	4,095 千円	放送通信コース, 地域活動コース, 大学市民講座委託料	

財源内訳	R2年度 支出済額 5,298 千円	事業費節別財源内訳	
		費目	支出済額(千円)
		分担金・負担金	
		使用料・手数料	
		国庫支出金	
		県支出金	
		その他 ( )	
		一般財源	5,298 千円

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	4.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	17,391	20,856	17,361	31,281			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	18,764	21,313	17,349	30,502			
	事業費(支出済額)	4,844	8,400	4,326	5,298			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	13,920	12,913	13,023	25,204			
	①常時勤務職員等の給与等	13,275	12,284	12,249	15,490			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	8,848			
	③退職金相当額	645	629	774	866			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,373	-457	12	779			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-1,373	-457	12	779			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	40.68	427,501	48.58	429,317	40.09	433,060	71.89	435,121

成果実績	指標名	生涯学習講座参加者数(延べ人数)	目標	1,410	単位 人	813	単位 人	1,364	単位 人	1,675	単位 人		
			実績	1,452	単位 人	765	単位 人	1,176	単位 人	1,112	単位 人		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				11,977.27			27,262.75			14,762.76			28,130.40

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1)	令和2年度末時点の課題	地域人材として将来的に活躍が期待されるミドルエイジ(40～50代)に焦点を当てた事業を実施したが、コロナ禍によりオンライン開催となった事業が多かったことから、テーマ設定や開催方法のみならず、参加者同士の交流やつながり、地域活動への参加を生む仕掛けをさらに検討していく必要がある。
(2)	課題解決のための今後の取組	事業実施において、民間事業者を含む他機関等との連携を図るとともに、「新たな生活様式」への対応とつながりづくりを両立した事業の実施形態として、オンラインと対面のハイブリッド型の展開を見据え、事業参加者が地域との継続的な関係性を築けるように仕組みを検討していく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域人材として将来的に活躍が期待されるミドルエイジをメインターゲットに据え、藤沢を取り巻く環境・資源を生かしながら豊かなライフスタイルづくりを推進にするための事業を実施することによって、地域における仲間づくりを促すなど、地域人材の発掘・育成に寄与することができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	人生100年時代を迎え、人々のライフスタイルが多様化する中で、地域人材の育成をはじめとした諸課題等の解決に、生涯学習・社会教育が果たす役割の重要性は増しており、「生涯学習活動推進室」における多様な学習・交流の機会の提供と主体的なネットワークの構築を通じて、「いつでも・どこでも・だれでも」学び、つながることができる生涯学習社会の実現を図っていく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
5	藤沢市生涯学習活動推進室の運営	無	有	3	3
5	生涯学習講座の計画・実施	有	有	3	3
6	生涯学習活動推進室運営委員会	無	有	3	3
8	生涯学習人材バンクの登録	無	有	3	3
9	生涯学習人材バンクの利用	無	有	3	3
10	生涯学習出張講座の運営	無	有	3	3
11	保育者セミナー(事業計画・事業実施)	無	有	3	3
12	社会教育事業に係る準公金の取り扱いに関すること	無	無	3	3
13	大学市民講座業務委託(市内4大学)	無	有	3	3
16	生涯学習推進本部の庶務	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	生涯学習表彰費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	004	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	5311

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	本市在住・在学・在勤等で、文化・芸術・スポーツ・読書活動・その他の生涯学習分野において活躍された個人や団体に対し、その荣誉と功績を称えることにより、一層の活躍を期待するとともに、広く市民に周知を図ることにより、更なる生涯学習活動の普及、促進を図られるよう表彰を行う。						
対象	4. その他	藤沢市在住、在学又は在勤等の個人又は団体				435,121	人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市生涯学習特別貢献表彰要綱						
事業実施内容	生涯学習特別貢献表彰式を3回実施し、個人5人、団体2組に対して表彰を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 148 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	145 千円	生涯学習特別貢献表彰記念品
		役務費	3 千円	表彰状筆耕料
財源内訳	R2年度 支出済額 148 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	148 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	5,625	4,398	4,769	6,763			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	5,760	4,758	4,765	6,282			
	事業費(支出済額)	540	519	489	148			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,220	4,239	4,276	6,134			
	①常時勤務職員等の給与等	4,978	4,033	4,022	5,809			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	242	206	254	325			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-135	-360	4	481			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-135	-360	4	481			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	13.16	427,501	10.24	429,317	11.01	433,060	15.54	435,121

成果実績	指標名	表彰式回数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	7	単位	6	単位	6	単位	3	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	表彰は、全国規模の大会等で優秀な成績を収めた在住、在学、在勤等の方に対し、都度表彰するもので、毎年の表彰対象者を計れないため目標値を設定しない。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			803,571.43	733,000.00	794,833.33	2,254,333.33					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	表彰対象となる生涯学習分野は、非常に広く、また表彰の対象となる功績等の情報元も様々であるため、どのようにして効率的かつ確実に対象となる方、団体等の情報を把握していくかが課題である。
(2) 課題解決のための今後の取組	新聞や地域情報紙、インターネットを中心に、継続的な情報収集に努めるとともに、庁内他課や関係機関からも情報収集を行い、効率的かつ確実に情報の把握に努める。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	文化・芸術・スポーツその他の生涯学習分野で顕著な成績を収めた方々の功績を表彰式という場で称えることは、市民にとって「郷土愛あふれる藤沢」を実現する一助となるものであり、また、生涯学習活動の推進が図られる意義のある事業である。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	生涯学習活動の推進が図られることは、「郷土愛あふれる藤沢」の実現につながることから、今後も当該事業を継続して行う。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
2	生涯学習特別貢献表彰に関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	5312

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務	
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のための施設等の維持管理。							
対象	1. 個人	市民					435,121	人
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例						
事業実施内容	1 公民館施設申請管理システム・自動券売機等の維持管理, 消耗品等必要物品の整備 2 機械警備による施設監視(単独館及び2分館) 3 施設管理・設備点検(単独館及び2分館) 4 公民館における, 施設の突発的な破損に対する修繕 5 公民館運営審議会の運営(委員長1人 委員19人) 4回開催							
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (公財)藤沢市まちづくり協会, セコム(株), 藤沢市民会館サービス・センター(株)等) (委託等内容 : 施設管理・設備点検等業務, 機械警備業務, 音響・照明・舞台等設備保守点検業務等) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 神奈川県公民館連絡協議会分担金) <input type="checkbox"/> その他 ( )							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 35,114 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	602 千円	公民館運営審議会委員報酬
		需用費	3,464 千円	自動券売機修繕, 公民館施設修繕, 消耗品購入ほか
		委託料	10,745 千円	施設管理・設備点検等業務委託, 機械警備業務委託ほか
		使用料及び賃借料	19,596 千円	施設予約システム機器賃借料, システム利用料ほか
		その他	707 千円	備品購入, 審議会会議反訳料ほか
財源内訳	R2年度 支出済額 35,114 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	12,804 千円	
		国庫支出金	2,310 千円	
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源	20,000 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	2.40 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	2.40 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.50 人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	64,372	62,885	55,935	63,312			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	65,124	63,364	55,922	60,753			
	事業費(支出済額)	49,174	48,428	40,858	35,114			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	15,950	14,936	15,064	25,639			
	①常時勤務職員等の給与等	15,211	14,209	14,169	23,234			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	1,106			
	③退職金相当額	739	727	895	1,299			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-752	-479	13	2,559			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-752	-479	13	2,559			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	150.58	427,501	146.48	429,317	129.16	433,060	145.50	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持管理を目的とした事務事業のため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設老朽化に伴う施設修繕要望の増加
(2) 課題解決のための今後の取組	施設再整備を控えている公民館の修繕は必要最低限とし、他館の修繕に手を付けられるよう調整・検討する。 なお、市民センター併設館については、市民自治部とも調整・相談をしながら検討する。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	施設の機械警備等を始めたハード面の管理や、公民館施設予約システム、自動券売機等ソフト面の管理により、公民館の円滑な運営・管理を行うことで市民サービスの向上を図ることができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	今後も引き続き、円滑な公民館運営を図り、市民が気持ちよく各館を利用できるよう必要な維持管理を行っていく。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
17	公民館長会議	無	無		2
19	公民館運営審議会委員委嘱・報酬支給	無	無	3	
20	公民館運営審議会	無	無	3	1
24	公民館の施設管理	有	有	1	
25	施設予約管理システム	無	有	3	1
26	公民館使用料	無	無	1	
29	公民館事業の予算管理	無	有	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公民館事業費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	5312

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 40 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	すべての市民が生涯にわたって、いつでも、どこでも、さまざまな学習や文化・スポーツ活動に親しめるよう13公民館で各種事業を展開する。 ※本事業は令和2年度から公民館運営業務費と事業統合したもの。						
対象	1. 個人	市民			435,121	人	
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例					
事業実施内容	1 13公民館の事業のための消耗品及び物品修繕等 2 事業における著作権使用(9件) 3 公民館バス事業の実施(2事業)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: ) (委託等内容: ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 675 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	89 千円	公民館会計年度任用職員事業等旅費
		需用費	416 千円	公民館事業用消耗品, 公民館物品修繕
財源内訳	R2年度 支出済額 675 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源	675 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.80人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.80人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.50人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	6,648	4,415	5,090	11,346			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,121	5,076	5,087	9,959			
	事業費(支出済額)	1,901	1,799	1,783	675			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,220	3,277	3,304	9,284			
	①常時勤務職員等の給与等	4,978	3,117	3,108	7,745			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	1,106			
	③退職金相当額	242	160	196	433			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-473	-661	3	1,387			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-473	-661	3	1,387			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	15.55	427,501	10.28	429,317	11.75	433,060	26.08	435,121

成果実績	指標名	公民館事業参加者数(延べ人数)	目標	161,238	単位	157,255	単位	148,470	単位	140,900	単位
			実績	137,774	単位	153,962	単位	135,766	単位	20,528	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1 単位あたりの総費用 A/実績 (円)			48.25	28.68	37.49	552.71					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルスの影響により、海洋科学教室や公民館での事業の多くが中止となった。コロナ禍における事業のあり方について、検討が必要。
(2) 課題解決のための今後の取組	新しい生活様式を意識し、コロナ禍においても事業が実施できるよう、オンライン開催等の実施方法について更なる検討を進める。また、この機会を捉え公民館でのバスを使用した事業の内容について精査を行っていく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となる公民館事業が多く、なかなか市民の学習要望に応えることは難しかったが、オンラインでの事業展開が可能となるよう準備を整え、できる限りの事業展開を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	公民館における「つどう」という機能が十分に発揮できない情勢ではあるが、ICTの活用も積極的に行いながら、地域における社会教育の果たすべき役割である「地域づくり」、「人づくり」、「つながりづくり」を公民館事業を通じて行えるよう、事業展開する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
14	海洋科学教室(新江ノ島水族館)	無	有	1	
18	公民館担当者会議	無	有		2
21	公民館非常勤職員委嘱・報酬支給	無	有	1	1
22	市民活動補償保険	無	有	1	
27	事業計画・報告・講師情報	無	有	3	3
28	公民館まつり	無	有	1	
29	公民館事業の予算管理	無	有	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------